

## 福井県立病院探検隊を8月5日に行いました。

福井県立病院や医療への関心を高めてもらうため、初めて開催しました。多くのご応募をいただき、抽選の結果選ばれた小学校5・6年生20人が参加し、色々な体験や院内の見学を行いましたので、その様子をお知らせします。



白衣着用体験



聴診器使用体験



輸液ポンプ使用体験



正しい手洗い方法体験



検査室見学



車椅子体験



放射線室見学



薬剤部見学



栄養管理室見学

### 参加者の皆さんの感想

- ★入ったことのない部屋に入れてよかったです。いろんなことが知れてよかったです。楽しかった。
- ★どの体験も楽しかった。病院の中がよく分かり、とても面白かったです。
- ★機会があったらまた来たいです。



## 福井県立病院理念・基本方針

### 理念

私たちは、総合的かつ高度な医療の提供を通じて、県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします。

### 基本方針

1. 心身ともに全人的な医療を提供します。
2. 質の高い医療、特殊・先駆的医療を提供します。
3. 安全管理を徹底し、患者様本位の医療を提供します。
4. 救命救急医療の充実を図ります。
5. 地域医療機関との連携に努めます。
6. 個人情報の適切な管理を行います。
7. 健全な経営に努めます。



「コンパス」には、

「円を描く道具」「方角を示す磁石」の2つの意味があります。

この広報誌が皆様と当院の輪(和)を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、今後の皆様の健康の道しるべとなるよう願いを込めて名づけられました。

# 県立病院栄養サポートチーム(NST)のご紹介

## はじめに

栄養療法はすべての患者さんに共通な、基本的かつ重要な治療のひとつです。ところが全国調査では入院患者さんの3割程度に栄養障害があり、そのことが病気の回復を遅らせて入院期間が長引く一因にもなっています。一方、栄養障害が疑われる患者さんに早期から適切な栄養療法を行うと、栄養状態を維持・改善して治療効果を高め、感染症など合併症の予防効果が期待できます。そのような背景で誕生したのが栄養サポートチーム(NST)です。

## NSTとは

NSTはNutrition Support Teamの略称で、患者さんを栄養面から支えるチーム医療のひとつです。1970年頃にアメリカで開始されて世界中の医療施設で拡大し、日本でも2002年頃より本格的に導入されました。当院では2003年より活動を開始し、専門の研修を受けた医師・看護師・薬剤師・管理栄養士と、嚥下状態の評価を行う言語聴覚士、臨床検査技師など多職種がそれぞれの専門知識を持ち寄り、ひとりひとりの患者さんに適した栄養管理の提案を行っています。

## NST 活動内容

### 1 栄養スクリーニング

担当看護師が入院時に患者さんの栄養状態を評価し、栄養障害が疑われる場合はNSTに連絡します。入院時に栄養障害がないとされた患者さんに対しては、担当看護師や管理栄養士が定期的な栄養評価を継続して、悪化の疑いがあればNSTへ連絡し、入院中の栄養状態悪化を防いでいます。

## 福井県立病院 NST フローチャート

全入院患者

入院時に栄養スクリーニング(SGA※)を行う

※県立病院改定版

A・B評価

C・D評価

引き続き栄養管理計画を作成する

計画内容の適切性を検討する

計画内容を患者に説明する

定期的(原則1回/週)に体重測定、投与評価を行い、栄養状態の経過を診る

退院時の評価を行う

患者情報をNST担当スタッフにメール連絡

NSTカルテ上で栄養管理計画を立て記事記載し主治医に提言する

計画内容を患者に説明する

定期的(原則1回/週)に栄養評価を行う

退院時の評価を行う

看護師

管理栄養士

主治医

NSTスタッフ

A: 栄養状態良好 B: 軽度の栄養不良 C: 中等度の栄養不良 D: 高度の栄養不良



## 2 栄養評価（アセスメント）・症例検討（カンファレンス）

患者さんの年齢や体格、病気の状態、治療方針などに基づき、ひとりひとりの必要栄養量を算出します。さらに、経口摂取が可能か、腸が使えるか、点滴が必要かなど患者さんの状態に応じて適切な栄養投与方法を検討します。現状の投与量や内容を評価して、より適切な食事内容、点滴内容などの栄養管理方法を提案しカルテに記載します。

また、週に1回症例検討を行い、患者さんの栄養管理状態や体重、血液データなどについて各職種がそれぞれの立場から意見を出し合い、主治医に提言しています。



## 3 病棟回診（ラウンド）

毎週水曜日午後15時半頃から対象患者さんのベッドサイドを訪問し、浮腫や脱水の有無などの身体所見や栄養摂取状況などを評価します。また、患者さんやご家族に、必要エネルギー量や栄養量などを記載した栄養治療計画書をお渡しし、内容を説明します。



## 4 院内勉強会

2006年より開始し月2回の日程で継続しています。第2水曜日は各病棟看護師による症例検討会、第4水曜日はNST医師やNSTメンバーによる栄養管理の基礎講義を行い、院内職員だけでなく院外からの医療従事者の参加も歓迎しています。



## 5 地域連携への試み

患者さんの栄養状態の維持・改善のためには、入院中の栄養管理にとどまらず、退院後の継続管理が大切です。地域の医療機関との情報共有のため、特に栄養管理が重要な胃瘻造設後の患者さんには、NSTより胃瘻本体や栄養投与量、投与方法などを記載した情報提供書を作成し、退院時にお渡ししています。

※入院中の栄養管理等についてご質問がありましたら、各病棟看護師またはNSTメンバーまでご相談ください。

## 陽子線がん治療センターの治療状況のご報告

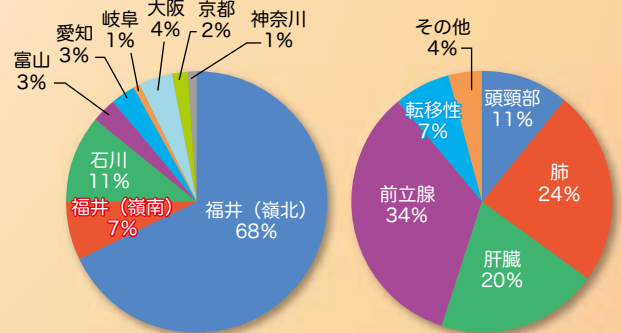
平成 23 年 3 月 6 日、日本海側で初めての陽子線がん治療施設がオープンしました。今号では、治療の現況等についてお知らせします。

当センターにおける陽子線治療の対象疾患は、頭頸部腫瘍、非小細胞肺癌、肝細胞がん、前立腺がん、転移性腫瘍（肺、肝、骨、軟部）です。対象となるがんについては、他の医療機関で実施している陽子線治療等の結果を参考に今後追加していく予定です。

### 患者さんの動向

11 月末現在では、治療が決定した人も含め 96 人となっており、このうちの 75% は福井県内の患者さんで、福井市をはじめ嶺北地域が 68%、嶺南地域は 7% となっています。また、同じ北陸の石川県や富山県のほか、中京・関西からも治療に来られています。

がんの部位別としては、全体の 34% は前立腺がん、次いで肺癌（24%）、肝臓がん（20%）となっています。また、治療基準は満たしていないものの、当病院内のキャンサーボードにおいて陽子線治療が適当と判断された症例についても陽子線治療を行っています。



これまでに、当センターで治療を受けられた患者さんの声の一部を紹介します。

#### <陽子線治療を受けようとした経緯・理由は？>

- 主治医や他院の医師から陽子線治療を勧められたから
- 新聞やニュースで陽子線治療を知り、主治医と相談の上決定した
- 痛くなく身体に負担のない治療法と聞き、安全・安心して治療できると思ったから
- 手術だと顔にダメージが残るため

#### <陽子線治療を受けられた感想は？>

- 痛みや辛さもなく、普通の日常生活をしながら治療できたことが良かった
- 身体への負担が大変少なく、リラックスして治療が受けられた
- 治療中や治療後も副作用が少なく体調も良いので、精神的にも楽になった

#### <陽子線治療を考えられている方へ>

- 治療に伴う身体への負担が少ないので、安心して任せることができる治療法です
- 一人で悩まずに、前向きになって、まずはセンターに相談してみてください

問  
合  
せ  
先

福井県立病院陽子線がん治療センター

相談専用ダイヤル：0776-57-2981 8:30～17:00（土日祝祭日除く）

TEL 0776-57-2980 FAX 0776-57-2988 E-mail youshisen@pref.fukui.lg.jp

#### 新聞やテレビで、県の情報をキャッチ!

新聞	「県からのお知らせ」（毎月1日、15日に掲載）
テレビ番組	「おはようふくい730」（FBC/日曜）
〃	「ほっとふくい」（ftb/1・3土曜）
〃	「まちかど県政」（FBC、ftb/日曜）
広報誌	「グラフふくい」（毎月10日発行）

※ラジオやインター  
ネットでも提供中。

お問い合わせ

県広報課

0776-20-0220



健康長寿の福井



発行 福井県立病院

福井市四ツ井2丁目8番1号 TEL:0776-54-5151 FAX:0776-57-2945

ホームページもご覧ください

<http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/>